

研究テーマ：5 語までの会話文を言えたり、聞いたりできるようにするための指導の工夫

所属 高知北高等学校

氏名 高橋 貴久江

RG SH1

### [1 研究の背景]

定時制・単位制高校で生徒の約 2/3 が不登校経験者である。現在もそのままの状態の生徒もいて、学校へ来ていない。登校している生徒も平均して小学校 5・6 年から中学校 3 年までほとんど学校へ行っていないので、英語の勉強ができていない。アルファベットが全部書けない者が 6/15 名いる。当然英語が読めないし、ALT の話している内容が聞き取れないと思う。その上、対話が苦手、発表が苦手という生徒が 7/15 名いる。

一方、英会話をやってみて楽しかった、CD など英語の音楽を聴いて、生きた英語を勉強できるのでとても楽しいという生徒も 6 名いる。

1 年間のオーラル で、「話し、聞く活動」を中心に少しでも英語が使える、友達と関わられるように仕向けたい。

(1)・授業の点呼時に、出席者には”Here” or”Yes”を一人一人言わせること。(全員小さい声でもするようになった。)

・少人数なので、授業中の活動を全員がするように目を配っていること。

(2)・Speaking については 5 語までの会話文を教科書を見ないで言うことができない。

Listening も 5 語までの会話文を聞き取れるようになっていない。

### [2 リサーチクエション]

(1) Speaking については S+V を含む 5 語までの会話文を覚えて言えるようにしたい。

Listening も 5 語までの会話文を丸ごと聞き取れるようにしたい。

### [3 予備調査]

(1) 授業観察の結果

Speaking については

パターン練習を 5 回した後、自分の答えを入れてペアでどんどん発表させるのはスムーズにできたと思う。Because の後の文(5 語まで)を一気に言うのにつまずいた生徒が 1/3 いた。

Listening も

質問の意味を説明、本文の難しそうな語句は日本語付きにした後、答えになる文を集中して聴かせ、英語を書き取らせたが、意外にも失敗した。

overslept overs までは聴き取れている。初めて聞く単語と思う。

8 : 3 0 と 9 : 3 0 英語と数字が結びつかない。t hirty の発音が聴き取れない。

g oing out this coming Sunday coming に混乱させられたらしい。

( 2 ) 英語力を示すデータ ( インタビューテスト ) ・ ・ 別紙

( 3 ) アンケート ・ 授業評価の結果 ・ ・ 別紙

#### [ 4 仮説の設定 ]

( ) 仮説

- ・ 自己表現の speaking の前に会話のパターンを十分に練習しておけば、自己表現がスムーズにできるのではないか。
- ・ Listening の時に、前もってリスニングポイントを与えて答えを予測させれば、聞き取れる量が増えるのではないか。

( 2 ) 実践の方法案

- ・ speaking の時、先ず教師が定型会話文モデル × 2 回 ( 日本語で説明付き ) 生徒 2 名に × 1 回 全生徒のペアで × 1 回 全生徒のペアで I D E A B O X の語句を入れて × 1 回 生徒に自分の答えを入れさせる 全生徒にペアで次々に発表させる × 1 回
- ・ listening の時に、ポイントとなる文を聞き取らせるために、先ず質問文の内容を確認し、次に全体の会話文の流れ ( 答えになる所は空白にしておく ) を英文で理解させた後で、テープを流す。

#### [ 5 研修自己評価 ]

小さい声でも良いから発話するという心の動きを大切にしたいということでは、段々と生徒の状態が前進していると思う。2 学期は英語を話したり、聞いたりする時間を許される限り取りたい。どこまでできるようにさせたいかを生徒に知らせることは忘れないようにする。Speaking については、授業が 1 週間に 1 度に 2 時間なので、次までどう習ったこ

とを持続させるかが問題だが、本来の活動に入る前の準備活動に十分な時間をかけるやり方を続けるつもりである。

Listening については、予想外に難しかったようだ。単語の音と意味が結びつく必要がある。これも何度も聴かす方法を取るべきか？

